

衛研第3 - 12号
平成28年 6月22日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493 - 59 - 9325
FAX 0493 - 59 - 9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 28 年 第 24 週（平成 28 年 6 月 13 日～平成 28 年 6 月 19 日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類及び二類感染症（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、細菌性赤痢 1 人、腸管出血性大腸菌感染症 4 人の届出があった。四類感染症の届出はなかった。五類感染症は、後天性免疫不全症候群 1 人、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 人、梅毒 4 人、破傷風 1 人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**流行性耳下腺炎**(1.36 1.62：図 1)の定点当たり報告数は前週より増加し、2012 年以降の最大値となった。年当初から、前年までの同時期と比べ多い状況が続き、5 月の大型連休後は増加傾向にある。保健所別では川越市保健所を除く 15 保健所管内から報告があり、さいたま市(1.56 3.04)、越谷市(1.13 2.50)保健所管内で大きく増加し、幸手(3.56 4.56)保健所管内で多い状況が続いている。年齢階級別では、3～7 歳で全体の 69.0%を占めている。**咽頭結膜熱**(0.86 0.99：図 2)の定点当たり報告数は前週より増加した。保健所別では東松山及び加須保健所を除く 14 保健所管内から報告があり、草加(0.45 1.73)、春日部(1.33 2.50)保健所管内で大きく増加し、狭山(2.24)、幸手(1.44)保健所管内で多い状況が続いている。年齢階級別では、1 歳の報告が最も多い。**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(4.61 3.65：図 3)の定点当たり報告数は前週より減少した。保健所別では全保健所管内から報告があり、川口(4.69)、熊谷(4.56)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、3～7 歳で全体の 62.6%を占めている。**ヘルパンギーナ**(0.27 0.48：図 4)の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、草加(1.27 2.45)保健所管内で大きく増加し、春日部(1.50)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**流行性角結膜炎** 31 人の報告があり、前週(25 人)より増加した。基幹定点報告対象疾患では、**無菌性髄膜炎** 1 人、**マイコプラズマ肺炎** 9 人の報告があった。

< 全数把握対象疾患の患者情報 >

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	細菌性赤痢	1 人（病原体 <i>S. sonnei</i> ）
	腸管出血性大腸菌感染症	4 人（類型 患者 3 人、無症状病原体保有者 1 人 血清型 O157 2 人、O 血清型不明 2 人、）
四類感染症	報告なし	
五類感染症	後天性免疫不全症候群	1 人（病型 AIDS）
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 人
	梅毒	4 人（病型 早期顕症 期 1 人、晩期顕症 1 人、 無症状病原体保有者 2 人）
	破傷風	1 人

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

< 今週の注目される定点把握対象疾患の推移 >

図1 流行性耳下腺炎

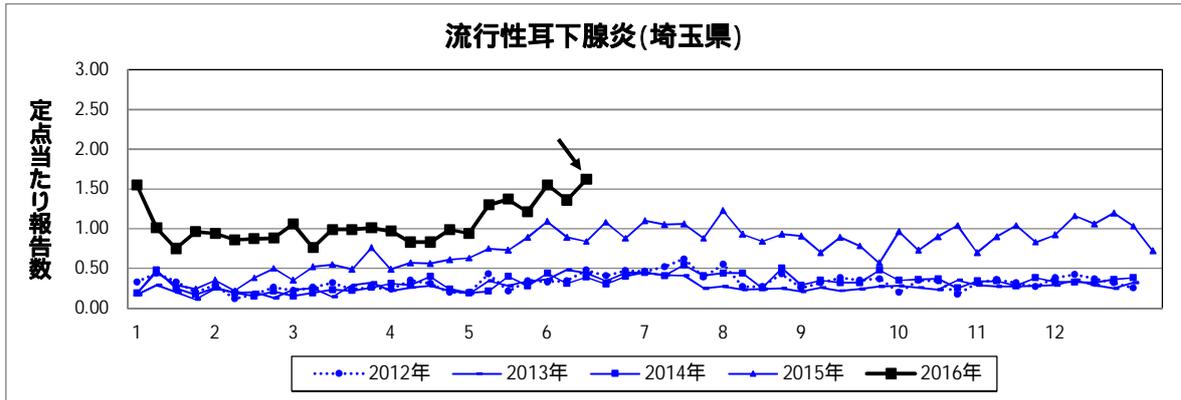


図2 咽頭結膜熱

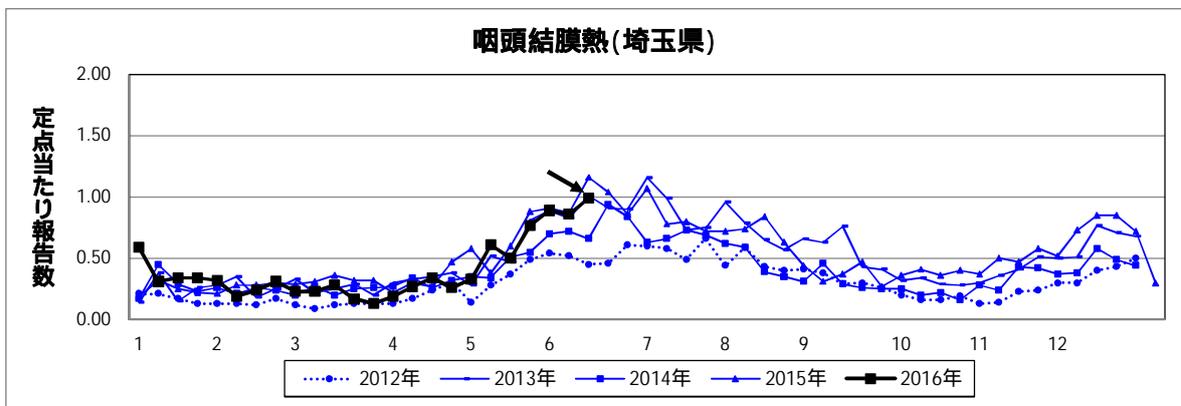


図3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

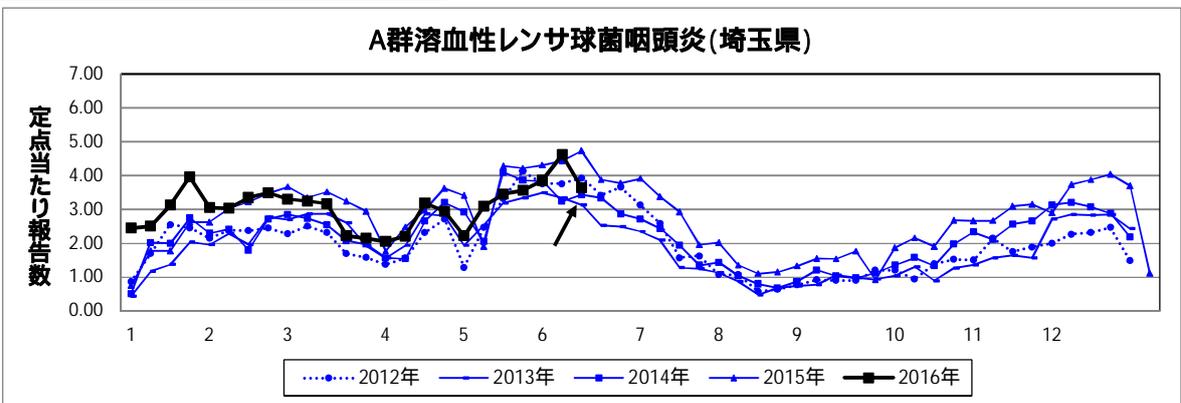
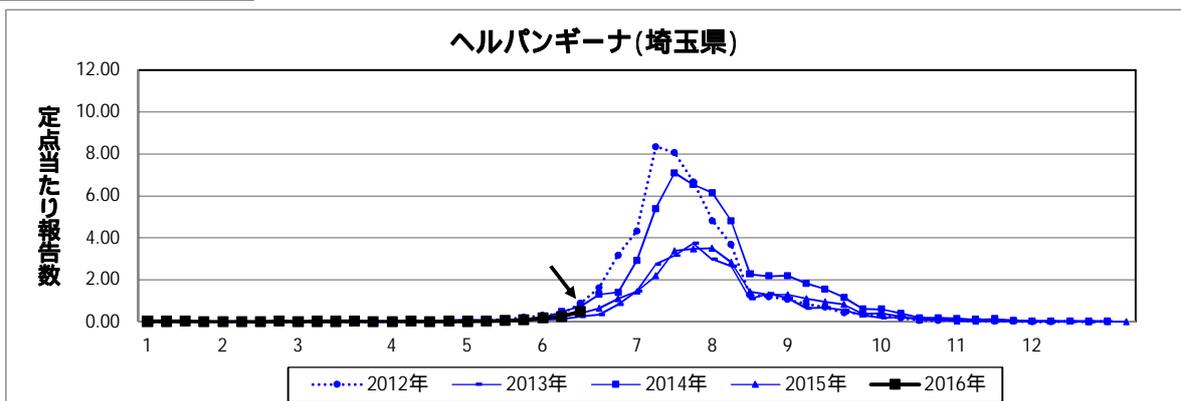


図4 ヘルパンギーナ



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第24週)

(2016年6月21日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢	1	6	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	4	17			
四類感染症					
E型肝炎		9	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症		27
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		6	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		27	侵襲性肺炎球菌感染症		59
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		5	水痘*		5
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		17	先天性風しん症候群		
急性脳炎		24	梅毒	4	59
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		3
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	破傷風	1	3
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		9	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	19	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		3
ジアルジア症			風しん		4
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	4	麻しん		1
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		2
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	4	1		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第24週 平成28年6月13日～平成28年6月19日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	11	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	4	-	-	1	2	1	-	-	-	-
RSウイルス感染症	5	1	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	160	-	15	41	19	27	17	20	8	3	4	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	588	1	1	16	31	75	73	75	83	62	47	37	62	2	23	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,131	9	70	143	105	116	101	98	79	63	53	48	127	23	96	-	-	-	-	-	-
水痘	86	-	6	3	3	5	10	19	10	16	7	1	5	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	37	-	5	17	4	2	-	2	1	2	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	36	1	1	1	4	3	4	10	2	2	3	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	121	3	48	62	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	78	-	6	16	22	15	6	5	3	2	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	261	-	-	4	11	28	35	45	35	37	22	19	21	-	4	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	31	-	-	-	1	3	1	2	-	-	-	-	-	1	2	8	3	4	2	2	4
細菌性髄膜炎 #2	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上				
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	9	-	-	3	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 22週

(5月30日～6月5日)

平成28年6月22日

インフルエンザの定点当たり報告数は第7週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.45)、大分県(0.81)、鹿児島県(0.77)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は10例と前週と比較して減少し、8道県から報告があった。

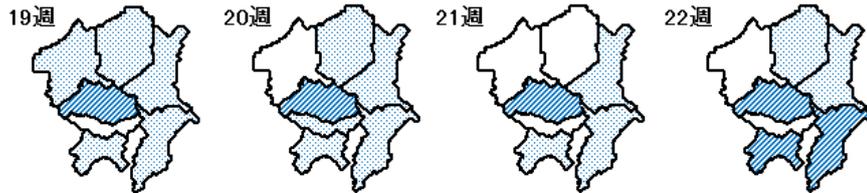
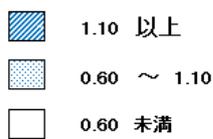
RSウイルス感染症の報告数は268例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約81%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は島根県(2.61)、佐賀県(1.83)、新潟県(1.41)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(4.87)、北海道(4.77)、長野県(4.54)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(15.78)、新潟県(9.17)、福井県(8.36)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(0.97)、鹿児島県(0.71)、愛媛県(0.70)である。手足口病の定点当たり報告数は第14週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(4.32)、香川県(0.86)、鳥取県(0.74)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山梨県(1.46)、鳥取県(1.32)、島根県(1.26)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(3.31)、山形県(2.73)、佐賀県(2.48)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.00)、岐阜県(1.80)、宮崎県(1.71)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は第16週以降減少が続いている。27都道府県から97例報告があり、年齢別では0歳(14例)、1～4歳(63例)、5～9歳(16例)、20代(3例)、70歳以上(1例)であった。

<関東情報>

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、埼玉県(1.55)、千葉県(1.43)、神奈川県(1.14)からの報告が多い。

流行性耳下腺炎



平成28年 22週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	862	125	11	2	1	14	38	34	25
	定点当たり	0.17	0.08	0.09	0.03	0.01	0.06	0.18	0.08	0.08
RSウイルス感染症	報告数	268	31	2	3	-	6	3	12	5
	定点当たり	0.08	0.03	0.03	0.06	-	0.04	0.02	0.05	0.02
咽頭結膜熱	報告数	2,367	707	40	17	24	142	106	209	169
	定点当たり	0.75	0.75	0.53	0.35	0.41	0.89	0.79	0.81	0.79
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	9,212	3,065	201	111	172	613	550	848	570
	定点当たり	2.92	3.24	2.68	2.31	2.97	3.86	4.07	3.27	2.68
感染性胃腸炎	報告数	18,782	5,683	428	122	334	999	744	1,779	1,277
	定点当たり	5.95	6.00	5.71	2.54	5.76	6.28	5.51	6.87	6.00
水痘	報告数	1,345	432	31	10	17	103	59	105	107
	定点当たり	0.43	0.46	0.41	0.21	0.29	0.65	0.44	0.41	0.50
手足口病	報告数	592	109	5	2	3	18	22	43	16
	定点当たり	0.19	0.12	0.07	0.04	0.05	0.11	0.16	0.17	0.08
伝染性紅斑	報告数	1,111	226	24	26	37	33	39	42	25
	定点当たり	0.35	0.24	0.32	0.54	0.64	0.21	0.29	0.16	0.12
突発性発しん	報告数	1,985	684	28	30	40	148	88	215	135
	定点当たり	0.63	0.72	0.37	0.63	0.69	0.93	0.65	0.83	0.63
百日咳	報告数	82	15	1	1	2	3	1	2	5
	定点当たり	0.03	0.02	0.01	0.02	0.03	0.02	0.01	0.01	0.02
ヘルパンギーナ	報告数	1,325	175	7	2	2	31	19	64	50
	定点当たり	0.42	0.18	0.09	0.04	0.03	0.19	0.14	0.25	0.23
流行性耳下腺炎	報告数	3,489	962	76	31	28	247	193	144	243
	定点当たり	1.11	1.02	1.01	0.65	0.48	1.55	1.43	0.56	1.14
急性出血性結膜炎	報告数	7	2	1	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	0.06	-	-	-	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	457	203	24	10	6	20	17	25	101
	定点当たり	0.66	0.99	1.41	0.83	0.43	0.50	0.49	0.64	2.06
細菌性髄膜炎 #2	報告数	12	3	-	-	-	-	1	2	-
	定点当たり	0.03	0.04	-	-	-	-	0.11	0.08	-
無菌性髄膜炎	報告数	24	2	-	-	-	1	1	-	-
	定点当たり	0.05	0.02	-	-	-	0.10	0.11	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	259	27	6	2	4	3	4	7	1
	定点当たり	0.55	0.33	0.46	0.29	0.50	0.30	0.44	0.28	0.10
クラミジア肺炎 #3	報告数	4	3	-	2	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.04	-	0.29	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	97	9	-	1	2	1	2	2	1
	定点当たり	0.21	0.11	-	0.14	0.25	0.10	0.22	0.08	0.10

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

埼玉県における食中毒発生状況（2015年）

2015年の食中毒発生状況を下の表に示しました。発生件数は27件、患者数は439名でした。病因物質別では、ノロウイルスによる食中毒（15件）が最も多く、1~2月に集中して発生しました。患者数は355名で、1事件平均は23.7名（最少5名 - 最大67名）でした。原因施設は飲食店が11件、仕出しが3件、給食施設が1件でした。原因食品は提供された食事で、いずれの事例も調理従事者からノロウイルスが検出されました。

細菌性食中毒は、カンピロバクターによる食中毒が6件とウェルシュ菌による食中毒が1件でした。カンピロバクター食中毒における原因施設は全て飲食店で、提供された生や加熱不十分の鶏肉、鶏レバーの喫食が原因と推定される事例が多く発生しました。ウェルシュ菌食中毒はあさりの吸い物の大鍋での調理、調理後の不適切な温度管理、提供時の加熱不足が要因と推察されました。

植物性自然毒による3事例はいずれも自身で採取した有毒野草を家庭で調理していました。

その他には、アニサキスが寄生したさんまの刺身（販売店で購入）による事例とヒスタミンが生成された焼魚（さんま一夜干し）の喫食により、保育園児等がアレルギー症状を呈した事例がありました。

表 2015年 埼玉県における食中毒発生状況（政令市、中核市を除く）

病因物質	摂食者数	患者数	発生日	原因食品	原因施設
ノロウイルス	21	9	1月4日	寿司	飲食店
ノロウイルス	12	12	1月8日	提供された食事	飲食店
ノロウイルス	79	38	1月10日	提供された食事	飲食店
ノロウイルス	29	17	1月25日	調理提供された食事	飲食店
ノロウイルス	82	67	1月29日	寿司	仕出し
ノロウイルス	31	22	2月1日	調理提供された食事	飲食店
ノロウイルス	10	9	2月1日	味噌汁	飲食店
ノロウイルス	9	5	2月28日	調理提供された食事	飲食店
ノロウイルス	8	8	2月28日	寿司	飲食店
ノロウイルス	37	23	3月5日	昼食	給食施設
ノロウイルス	139	45	4月1日	提供された弁当	仕出し
ノロウイルス	26	12	4月22日	中華料理	飲食店
ノロウイルス	9	6	5月15日	調理提供された食事	飲食店
ノロウイルス	25	16	10月4日	調理提供された食事	飲食店
ノロウイルス	127	66	10月13日	調理販売された弁当	仕出し
カンピロバクター	3	2	3月5日	鶏レバ刺し、とり刺し、串焼き	飲食店
カンピロバクター	7	5	5月23日	焼肉、炙り牛レバー	飲食店
カンピロバクター	7	3	6月2日	豚レバ刺し、鶏ユッケ、焼鳥等	飲食店
カンピロバクター	2	2	6月12日	とりわさ等	飲食店
カンピロバクター	2	2	10月22日	鶏レバーたたき（推定）	飲食店
カンピロバクター	110	14	12月23日	提供された食品（鶏のたたき等）	飲食店
植物性自然毒	1	1	4月16日	ハシリドコロ	家庭
植物性自然毒	1	1	5月16日	コバイケイソウ	家庭
植物性自然毒	7	7	5月27日	バイケイソウ	家庭
ウェルシュ菌	36	23	12月4日	あさりの吸い物	給食施設
アニサキス	2	1	9月8日	さんまの造り	販売店
ヒスタミン	34	23	9月17日	さんまの一夜干し	給食施設
合計	856	439			

総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2016年 > 感染症の流行状況 2016年 第24週

感染症発生動向調査 2016年

- [感染症の流行状況 2016年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第18週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第19週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第20週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第21週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第22週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第23週](#)

感染症の流行状況 2016年 第24週

2016年第24週（平成28年6月13日～6月19日）の要点 平成28年6月22日

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）の定点当たり報告数は、前週より増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★	伝染性紅斑	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱	↑	★★★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	★★★	ヘルパンギーナ	↑	★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	↑	★★★
水痘（みずぼうそう）	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★	流行性角結膜炎	↑	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン